

じちけん 専門部会

メンバー募集中！

最終集約

7月31日
(水)

受け付け
期間延長

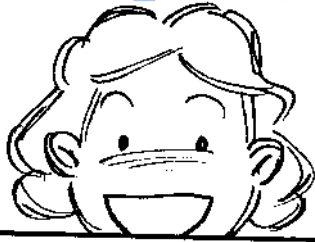
■3つの専門部会の
テーマは、下の表の
とおりです。

■部会毎に集まり、
調査・分析・研究
(レポート作成)を
行います。

■中間報告会や現地
調査、2026年5~7
月に開催する県本部
自治研集会等に出席
していただきます。

活動やレポートに対
して表彰制度あり！

じちけん 「自治研」って何？



仕事をしていると、
「こんなふうにする
ば、もっと良いサービ
スが提供できるのに」
などと思うことがある
はず。そんな思い
をみんなで考え、実現
しようとする。こ
れが地方自治研究
「じちけん」です。



現地調査



専門部会



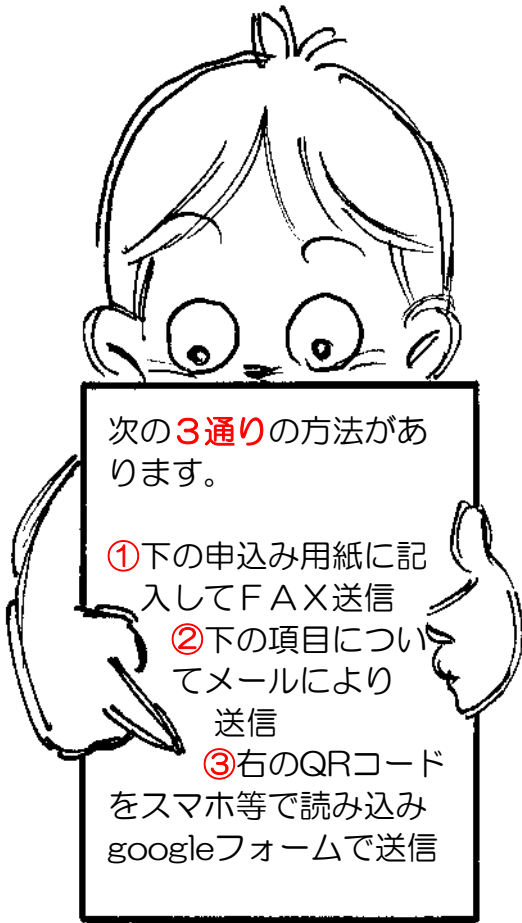
発表(県自治研集会)

申込み方法は
裏面にあります



部会名	テーマ	補足説明
【地域創生】		
第1 専門部会	少子高齢化と人口 減少社会における 自治体・地域のあり 方	日本の人口は、国立社会保障・人口問題研究所の資料によると、2065年には8千万人台となり、さらに2.6人に1人が65歳以上となることが見込まれています。人口減少と少子高齢化が急速に進むなかで、自治体・地域をどのように維持・発展させていくかが課題となっています。
【自治体議会改革】		
第2 専門部会	自治体議員の担い 手不足、低投票率の 現状をどう打開し ていくべきか	新聞報道によれば、2023年の統一地方選後半戦、全国の町村議選で総定数の約30%が無投票で当選し、過去最高の割合となり、市議選においても過去2番目の割合であったとのこと。また、投票率も全体的に右肩下りの状態であり、何らかの改革を行わなければ、さらに地域住民の意識が薄れていき、地方自治の根幹が揺らいでしまう事態も危惧されています。
【震災・原発事故】		
第3 専門部会	震災・原発事故か らの復旧・復興の 現状と今後の課題	大震災・原発事故から13年が経過しました。復旧・復興は進んではいるものの道半ばであり、今も約2万6千人の県民が避難生活を余儀なくされています。被災自治体においては、今なお続く復旧・復興業務、頻発する自然災害への対応など非常事態は続いており、職員も限界に達している状況です。

申し込み方法は？



登録状況は
県本部HPで
ご確認を！

最終集約

7月31日
(水)

[専門部会全体会日程]
日時：8月24日・土
14:30～
場所：双葉町産業交流
センター
※ぜひ、ご出席を！

申し込み先等

E-mail	fukushimajichiro@gmail.com
FAX	0242 (27) 8551 <small>※県本部ではありません</small>



◆E-mailによる場合は、下の申し込み用紙の各項目をメール本文に記載し送信ください。

◆ご本人だけではなく、お友達等も一緒に（複数人で）申し込むことができます。

◆申込みの際の個人データは、自治研（専門部会）以外の目的には利用いたしません。

◀ 自治研専門部会会員登録申し込み用紙 ▶

報告月日	月 日	単組名	
報告者名		電 話	
専門部会	氏 名	職場名	携帯電話番号
(記入例) 3	自治研 太郎	市民課国保係	09012345678 ※部会の連絡はLINEグループで行います。 (登録必須です！)